

「NISA に関するお客様にご負担いただいた費用・報酬のお知らせ」について

NISA 口座でユニオンファンドを保有されているお客様に書面にてお知らせしております。
本書面は、お客様が NISA 口座で保有されているユニオンファンドについて、**年間にご負担いただいた信託報酬（概算額）を、簡便な方法により金額でお示しするものです。**

※年初と年末に残高がある方が対象です。

その他の一般口座、特定口座で保有されている分でご負担いただいた額は含まれておりません。

信託報酬は、通常、率（%）で表示されているため、金額として目にすることはほとんどありません。このため、「どういう意味なのか分かりにくい」「思っていたより高く感じる」といったご不安・ご不満を持たれた方もいらっしゃるかと思います。

以下では、よくいただく述べてください。

信託報酬は、いつ・どのように支払っているのですか？

信託報酬は、投資信託を運用・管理・販売するための費用として、**毎営業日、信託財産から自動的に差し引かれています。**

そのため、

- 後日あらためてお支払いいただくことはありません
- 現在ご覧いただいている基準価額は、すでに信託報酬控除後の金額です

今回お知らせした金額は、**過去 1 年間、お客様ごとにご負担いただいた信託報酬の目安を金額で表示したもの**です。

表示されている金額は、どのように計算しているのですか？

法令諸規則等で認められている「簡便な方法」に基づき、以下のように算出しています。

$$\underline{(\text{年初の評価額} + \text{年末の評価額}) \div 2 \times \text{実質的な信託報酬率の上限値}}$$

お客様一人ひとりについて、日々の残高変動をすべて反映した正確な金額を算出することは、非常に煩雑でコストもかかるため、**あくまで目安となる概算額としてお示ししています。**

そのため、たとえば年の途中でお客様が大きく売買された場合などでは、実際にご負担いただいた金額と差が生じます。

信託報酬が「2.1%」と表示されているのはなぜですか？

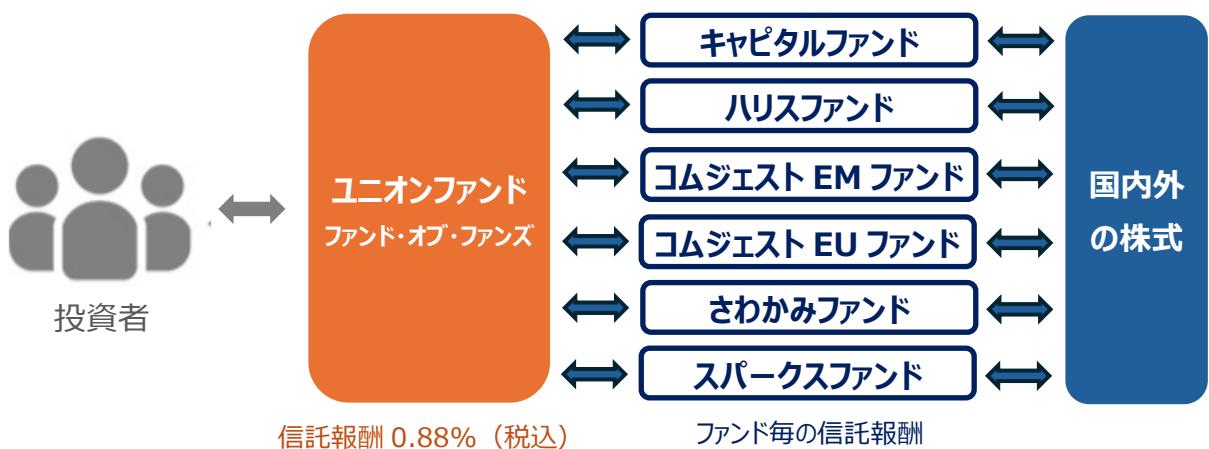
ユニオンファンドは、複数の投資信託に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」という仕組みで運用されています。

- ユニオンファンド自体の信託報酬：年率 0.88%（税込）
- 組み入れている他のファンドにも、それぞれ信託報酬がかかります

これらを合計したものは、一般的に「実質的な信託報酬率」と呼ばれています。

実際の実質的な信託報酬率は、ユニオンファンドにおける組入ファンドの配分比率で決まり、 $1.8\% \pm 0.3\%$ の範囲で変動します。

今回の書面では、最も高くなった場合の上限値（年率 2.1%）を用いて計算しており、**実際に 2.1%の信託報酬がかかっていることを示すものではありません。**



他の低コスト商品と比べて不利ではありませんか？

低コストの商品には、低コストならではのメリットがあります。

一方、ユニオンファンドは、商品の成績もさることながら、それ以上にお客様の資産拡大を目指しております、

- 長期にわたり安心して続けられる運用
- 市場環境の変化に応じた柔軟な判断
- 運用状況や考え方を直接お伝えする情報発信

などを重視しています。

ユニオン投信は、**働く仲間の生涯資産づくりを支えることを目的に設立、運営している直販の運用会社です。**

短期的な流行ではなく、長期的な視点での運用を行ってまいります。

このお知らせをご覧になり、ユニオンファンドが何か変わったのかと思われる方がいらっしゃるかもしれません、ユニオンファンドの仕組みや運用の考え方・中身はこれまでと全く変わっておりません。

ユニオン投信は、これからも**お客様に寄り添い、安心して長期投資を続けていただける運用**を大切にしてまいります。

ご不明な点がございましたら、いつでもお気軽にお問い合わせください。